

フタバラン

Listera cordata (L.) R. Br. var. japonica Hara

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

本県では稀産の植物である。(現況:RO)

形態

本県にはフタバラン属に本種とヒメフタバランの2種を産するが共に絶滅危惧植物である。茎の高さは10～20cm、茎の中部に2個の葉を対生状に着ける。葉は三角形状腎形、長さ・幅とも1～2cm。花茎の上部には緑褐色の小花が4～10個着く。唇弁の先端は2つに深裂、裂片は線状で鋭頭。

国内分布

北海道、本州(中部、近畿以北)、四国、九州、さらに千島、カラフトに分布。

県内分布

白山高地区。

生態など

地生の多年生植物。開花期は6～8月。

生育環境

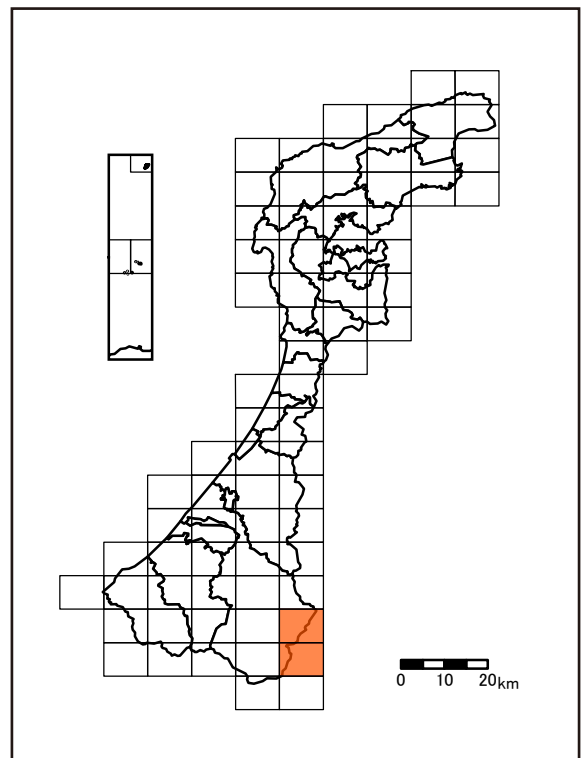
亜高山帯の針葉樹林の林床。

危険要因

特に報告がないが主な危険要因として、産地局限が想定される。



白井伸和・2000年8月8日



県内の分布